

史料が語る 日本と東北アジアの歴史

聴講自由

講師 / 平川 新 (東北大学災害科学国際研究所長)

チョローン・ダシダワー (ウランバートル大学教授)

平川 新 (東北大学災害科学国際研究所長) [15:10 ~ 16:00]

「日本とロシアの古文書から見えてくる『帝国』の姿」

史料なくして歴史は語れない。これは万国共通である。だがその史料はどこにあるのか。ロシアの場合、多くはモスクワやペテルブルグなどのアルヒーフと呼ばれる史料館に所蔵されている。日本の場合、大半は江戸時代の村役人だった旧家にある。公的な史料館に所蔵されている古文書は、ほんのわずかだ。それだけに災害や諸種の事情によって散逸したり消滅することが少なくない。歴史資料の保全活動の重要さは、そこにある。

本講演では、保全活動で入手した古文書から、日本に接近してきたロシアの姿を描き出し、ロシア側の史料からはロシアの目に映った日本の姿を紹介する。日本とロシアの古文書が交差することによって描き出される環太平洋の歴史を紹介したい。



チョローン・ダシダワー (ウランバートル大学教授) [16:10 ~ 17:00]

「モンゴルの日本人抑留者」(通訳つき)

モンゴル国ウランバートルのモンゴル国立アルヒーフには、1945 ~ 47年に同地に抑留された日本人に関する膨大な写真資料が所蔵されている。これらの写真群は、日本人抑留者たちがウランバートルで過ごした2年間に及ぶ苦難の日々を鮮明に伝えている。本講演では、モンゴルのアーカイヴ資料に詳しいモンゴルの研究者が、日本人抑留者の姿を捉えた多数の鮮明な写真資料を紹介しながら、その歴史学上の意義を論じる。

日時: 2012年5月25日(金) ◆ 講演会 15:00 ~ 17:00 ◆ 総会 17:10 ~ 17:40

会場: 東北大学 東京分室

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1丁目7番12号サピアタワー10階 (JR 東京駅の日本橋口に直結しているビル)
Tel. 03-3218-9612 <http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>

【お問合せ】 東北大学東北アジア研究センター内東北アジア学術交流懇話会 事務局 岩山

Tel. 022-795-7580 E-mail: iwayama@cneas.tohoku.ac.jp